

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	2020年東京大会関係者を対象とした風しん・麻しんに関する特別対策事業			<b>担当部局庁</b>	スポーツ庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和元年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和3年度	<b>担当課室</b>	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 八木 和広		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針(平成27年11月27日閣議決定) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策に関する推進計画(令和元年8月1日策定)				
<b>主要政策・施策</b>	2020年東京オリパラ			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、風しん・麻しんに感染した場合に大会運営等に悪影響を及ぼす可能性のある者や多くの訪日外国人と接する機会のある大会関係業務従事者に対し、風しん・麻しんへの感染リスクを低下させる。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策に関する推進計画」(令和元年8月1日)における特別対策の一環として、大会開催の1カ月前までに、31歳以上(令和3年4月2日時点)の大会関係者(大会組織委員会職員、大会ボランティア、大会関係業務委託業者スタッフ、競技関係者等)に対し、MRワクチンの接種を実施する。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-	-	-
		補正予算	621	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	621	621	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	▲ 621	▲ 621	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-
		計	0	0	621	0	0	0	0
	執行額	-	-	98	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	16%	-	-	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	0%	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	-	-	
	<b>令和4・5年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
その他		0	0						
計		-	-						
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	大会開催の1カ月前までに、31歳以上(令和3年4月2日時点)の大会関係者(大会組織委員会職員、大会ボランティア、大会関係業務委託業者スタッフ、競技関係者等)に対し、MRワクチンの接種を実施する。								
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
				大会関係者のMRワクチン接種	MRワクチン接種者数	活動実績	人	-	-
	当初見込み	人	-	-	61,450	-	-		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/予防接種者数	単位当たりコスト	千円	0	0	40	-		
		計算式	千円/人	0円/0人	0円/0人	98,360千円/2,480人	-		

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度	
	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中及び開催期間前後において、大会関係者の中で風しん・麻しんが流行しない	大会関係者における風しん・麻しん感染者の発生者数		成果実績	人	-	-	0	-
		目標値	人	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策に関する推進計画」(令和元年8月1日)								
政策評価、 再生計画との関係	政策	11 スポーツの振興	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20201224-mxt_kanseisk01-000011779_11-2.pdf					
		11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現		該当箇所	達成目標3				
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	日本が世界中の注目を集め、多くの外国人が訪日する機会となる東京大会では、世界中から多くの訪日客が見込まれることに加え、競技関係者、東京大会の運営関係者、観客など大勢の人々が関わり、これらの人々が会場等に集中することで感染症の発生リスクが高まる懸念があるため、水際対策や東京大会で多数の者と接する機会のある業務に従事する者等は、自らの感染予防と自らを介して他人に感染させることを防止する観点から、必要な者はMRワクチンを接種し、風しん・麻しんの免疫を確保することが強く望まれる。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業の実施に当たっては、東京2020組織委員会や国内競技団体と連携を図りながら、事業を進める必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策に関する推進計画において、「大会の成功に向けて、感染症対策に万全を期すため、特に多くの訪日外国人と接する機会がある者や感染した場合に大会運営等に悪影響を及ぼす可能性のある者等に対し、風しん・麻しんへの感染リスクを一層低下させることを目的として、麻しん・風しんに関する特別な対策を講じる」と掲げ、MRワクチンの確実な接種が推奨されている。				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	結果として一者応募となったが、今後は公募の時点で、応札可能な機関に働きかけるなど、応募者を増やす努力をする。				
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	予定価格の作成に当たっては、類似事業や市場価格の調査等により設定を行っている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	不用率が大きくなった理由は、新型コロナウイルスのワクチン接種促進のために事業が中止となったためである。					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	一般競争入札(最低落札)を実施し、合理的に支出が行われるように努めている。					
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係者における麻しん・風疹罹患患者の報告は無く、成果目標に見合った実績といえる。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			△	接種者数(見込)は接種対象となる大会ボランティア、大会関係業務委託業者スタッフを所管する大会組織委員会等と調整し、大会ボランティア等の年齢構成、活動内容等をもとに算出したものであったが、新型コロナウイルスの流行・ワクチン接種促進等の要因から、活動実績は見込みと比較して少ないものになっていると考えられる。				
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-	-					

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号		事業名		
点検・改善結果	点検結果	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策に関する推進計画において、「大会の成功に向けて、感染症対策に万全を期すため、特に多くの訪日外国人と接する機会がある者や感染した場合に大会運営等に悪影響を及ぼす可能性のある者等に対し、風しん・麻しんへの感染リスクを一層低下させることを目的として、麻しん・風しんに関する特別な対策を講じる」と掲げ、MRワクチンの確実な接種が推奨されている。</p> <p>日本が世界中の注目を集め、多くの外国人が訪日する機会となる東京大会では、世界中から多くの訪日客が見込まれることに加え、競技関係者、東京大会の運営関係者、観客など大勢の人々が関わり、これらの人々が会場等に集中することで感染症の発生リスクが高まることが懸念されるため、水際対策や東京大会で多数の者と接する機会のある業務に従事する者等は、自らの感染予防と自らを介して他人に感染させることを防止する観点から、必要な者がMRワクチンを接種し、風しん・麻しんの免疫を確保することは極めて重要である。</p> <p>事業の実施に当たっては、大会組織委員会等と連携を図りながら、大会関係者への接種を適切に実施していたが、新型コロナウイルスのワクチンの接種体制(職域接種等)が急速に整い、当事業で接種を行うMRワクチンと新型コロナウイルスワクチンを同時期に接種する際は接種間隔を13日以上空ける必要があることから、当事業の実施により新型コロナウイルスの予防接種スケジュールに影響を与えてしまうことを鑑み、事業を中止した。</p> <p>その結果、活動実績については見込みを下回るものとなっている。</p>			
	改善の方向性	<p>大規模な国際大会を開催するにあたっては、多くの人流移動を伴うことから、今後も感染症対策を講じることが重要である。</p> <p>本件については一社応札となった案件であることから、より入札の競争性が働くよう改善する必要がある。今後類似事業を実施する際には、競争参加資格の設定や、より長期の公告期間確保等を検討する。</p>			
<b>外部有識者の所見</b>					
外部有識者による点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
終了予定	<p>本事業は、当初計画に基づき令和3年度をもって予定通り終了。</p> <p>なお、本事業の成果及び1者応札についての分析を行い、今後の類似事業実施につなげるべきである。</p>				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
予定通り	<p>本事業は、令和3年度をもって終了するが、外部有識者の指摘を踏まえ、本事業の経緯や手法を検証するとともに1者応札についての分析を行い、今後の事業実施につなげる。</p>				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成23年度	-				
平成24年度	-				
平成25年度	-				
平成26年度	-				
平成27年度	-				
平成28年度	-				
平成29年度	-				
平成30年度	-				
令和元年度	文部科学省 -				
令和2年度	文部科学省	0319			
令和3年度	2021 文科	20	0341		

